

事後内部評価シート

調査研究課題名	次世代マルチモーダル交通情報基盤に関する調査研究 W 杯 実 証 実 験
担 当 者	前研究調整官 丸山隆英、研究調整官 山縣延文、前研究官 押井裕也
当初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、携帯機器の位置情報把握の仕組みを利用しマルチモーダルな交通利用者の動態（位置情報）をリアルタイムに把握・集積することにより、利用者に有益な交通情報の提供を行おうとするものであり、一時的に大規模に観客が参集する大規模イベント時における観客の円滑な移動に貢献する観点から、サッカーW杯を対象として、観客のリアルタイムな位置把握、混雑予測、交通情報配信等の有用性の検討を行おうとするものである。</p> <p>平成 14 年 5 月から 6 月にかけて札幌で開催された日韓 FIFA ワールドカップにおいて観客をモニタとした実証実験を実施し、収集データの解析、アンケート結果による評価を行うことで、当初の目標は達成された。</p>
調査研究内容の妥当性	<p>W杯の観客をモニタとし、PHS 及び Bluetooth 内蔵 PHS により、モニタのリアルタイム位置把握、リアルタイム通過情報把握を実施し、大規模イベント時における有用性について考察するとともに、得られた位置情報からリアルタイムな混雑予測を行った。また、モニタの携帯電話への交通情報メール配信の有用性についてアンケート結果等による考察を行うことが出来た。</p>
調査研究の仕組みの妥当性	<p>実証実験の実施に際しては個別に有識者にご指導を頂くとともに、学産官の議論の場である「次世代マルチモーダル ITS 研究会」においても説明し、ご意見を頂き、的確な調査研究を進めることができた。</p>
成果と活用（予定）	<p>PRI Review6 号（2002 年秋号）に概要を掲載した。また、政策課題勉強会（2003 年 3 月）及び平成 15 年 6 月の土木学会土木計画学研究発表会（春大会）（2003 年 6 月）で発表を行った。</p>
その他	